

1. 目的

奈良教育大学を中心とする「近畿ESDコンソーシアム」の活動の一環として、川上村森と水の源流館と「水の恵み」や「森林環境」に着目した授業づくりセミナーに協働的に取り組みます。森と水源流館スタッフによる、自然環境保全の取組や水生生物などに関する情報提供、大学教員等による単元デザイン作成に関する助言のもと、現職教員が指導案を作成し、授業実践を行います。これによりESDを指導できる教員としての資質・能力の向上につながる継続的な研修の機会となっています。

2. 主催

近畿ESDコンソーシアム（奈良教育大学内）、森と水の源流館

3. 会場

本年度はオンラインによる開催を予定

4. 開催日時と研修内容

- 第1回 令和3年6月19日（土）スタッフの紹介・ネタ提案、ESD理解促進
 - 第2回 令和3年7月 4日（日）優良実践事例の分析・ESD授業構想作成について
優良実践発表者：大牟田市立吉野小学校 教諭 島 俊彦
 - 第3回 令和3年7月31日（土）授業構想の相互検討
 - 第4回 令和3年9月 4日（土）学習指導案の相互検討
 - 第5回 令和4年2月12日（土）授業実践報告会：森と水の源流館にて
- ※ 開催時間はいずれの回も10時～12時（オンラインにて参加ください）

5. 参加者

近畿ESDコンソーシアム構成団体に所属する教員等
奈良教育大学の大学生・大学院生・教職大学院生
森と水の源流館 事務局長 尾上忠大 及びスタッフ
奈良教育大学准教授 中澤静男・大西浩明、研究員：杉山拓次ほか